

事例3 1 タイマー取付けによる間欠ばっ気運転（保守点検業者の水質改善事例）

1. 基本情報および一年間の測定結果

処理方式	構造例示型 嫌気ろ床接触ばっ気	作業予定月	
メーカー／型式	積水ホームテクノ(株)／SGSⅡ型	保守点検	2・6・10月
人槽／使用人員	10人槽／6人使用	清掃	8月
日平均汚水量	1.30m ³ /日	法定検査	4月

	放流水透視度(度)	DO (mg/L)	pH	1次処理流出水透視度(度)	1次処理1室 (cm)		1次処理2室 (cm)		沈殿槽 (cm)		
					スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	
保守	<u>平成26年2月10日</u>	14	7.2	7.7	12	3	10	0	21	0	7
法定	平成26年4月8日	34	4.1	7.4	22	5	12	0	18	0	10
保守	平成26年6月9日	48	3.7	7.3	29	10	12	0	25	0	5
清掃	平成26年8月28日	46	/	7.0	26	15	15	/	32	/	12
保守	平成26年10月8日	50	3.9	7.1	29	4	7	0	5	0	9

2. 浄化槽の概要図と法定検査時の設定状況

概要図	法定検査時の設定状況		
<p>ろ材 接触材</p>	メーカーの基本設定	保守点検の設定	
	空気逃がしバルブ	全閉	3/4回転開
	汚泥移送	停止	停止

3. 法定検査時の槽内状況

1次処理1室	1次処理1室/2室	1次処理2室/2次処理	2次処理/沈殿槽
1室スカム厚 5cm 堆積汚泥厚 12cm	2室スカム厚 0cm 堆積汚泥厚 18cm	①透視度 22度	放流水透視度 34度 ※撮影の為、消毒筒は取り外しています

4. 水質改善対策方法

タイマーの取付状況		
		
取付日 <u>平成26年2月10日</u> (保守点検時)	雨に当たる恐れがある為、 容器に収納している	リーベックス(株) PT24 ばっ気停止時間(0時~6時)

5. 対策の効果

生物膜の状況	空気逃がしバルブ	警報器について
		・シンワ製(Paスカル)は ブロワの圧力低下を検知後 警報を発報するまで3時間あり、 間欠ばっ気との組み合わせに 適している
② 生物膜の生成により、槽内水 及び放流水透視度が改善	③ 消音対策で空気逃がし配管 にサイレンサー取付	

6. 保守点検時の留意点

<p>① 空気逃がし調整で水質が改善されない施設に検討</p> <p>② 水質改善後はタイマーを外し経過観察する</p> <p>③ DO値が、ばっ気攪拌時に1.0mg/L以上になるよう調整を行う</p>

7. 清掃時の留意点

<p>① 適正量引抜き区分 ○-○-☆</p> <p>② タイマーの現在時刻が合っているか確認する</p> <p>③ コンセントの接続状況に不備がないか確認する</p> <p>【ろ材の形状】 1次処理1室:骨格様球状 2室:へちま状</p>
--